

平成28年度 酒田市役所環境保全実行計画年次報告書

■酒田市役所の取り組み

市役所では、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、市役所の事務及び事業に関し、温室効果ガスの排出量の削減のための取り組みを行い、地球温暖化対策を推進しています。

平成25年2月には、これまでの取り組みの成果等を踏まえ、「第2期酒田市役所環境保全実行計画」を策定しました。この計画に基づき、市役所自らが行う全ての業務に伴って排出する温室効果ガスの量を、平成29年度までに、基準年度の平成23年度と比較して5%削減することを目標に、さらなる温室効果ガスの排出量削減に向けた取り組みを行っています。

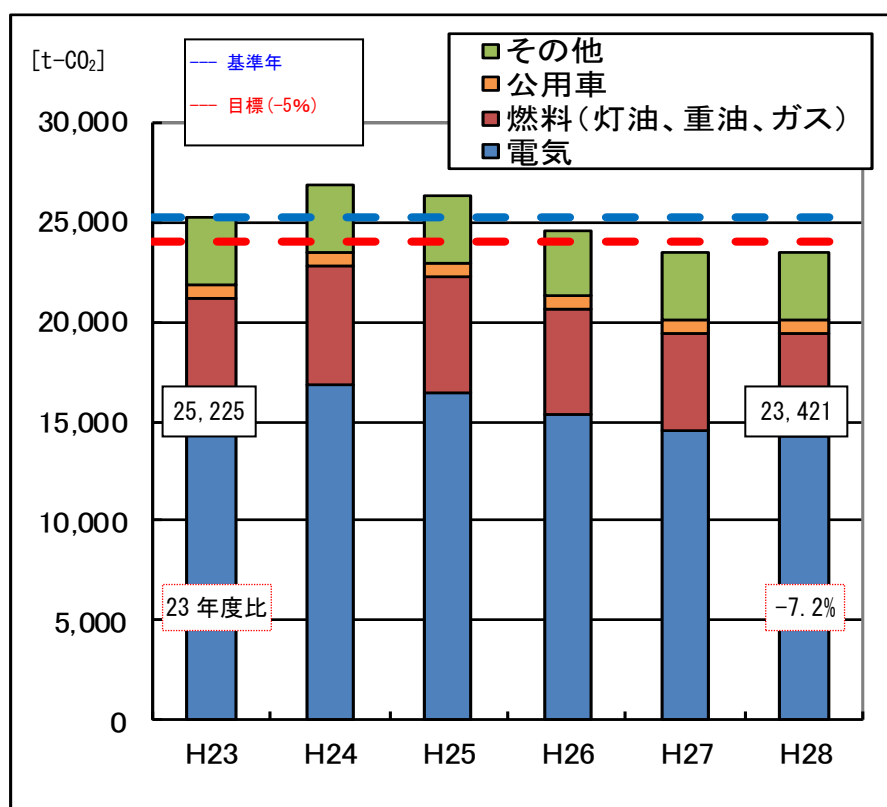
■市役所の温室効果ガス排出量

平成28年度も、クールビズやウォームビズなどを徹底し、節電や省エネの取り組みが行われました。また平成23年度と比べて夏の平均気温は低く、冬の平均気温も高かったことも影響し、電気や燃料の使用量は減少しました。その結果、温室効果ガス排出量も平成23年度と比較して7.2%減少しました。

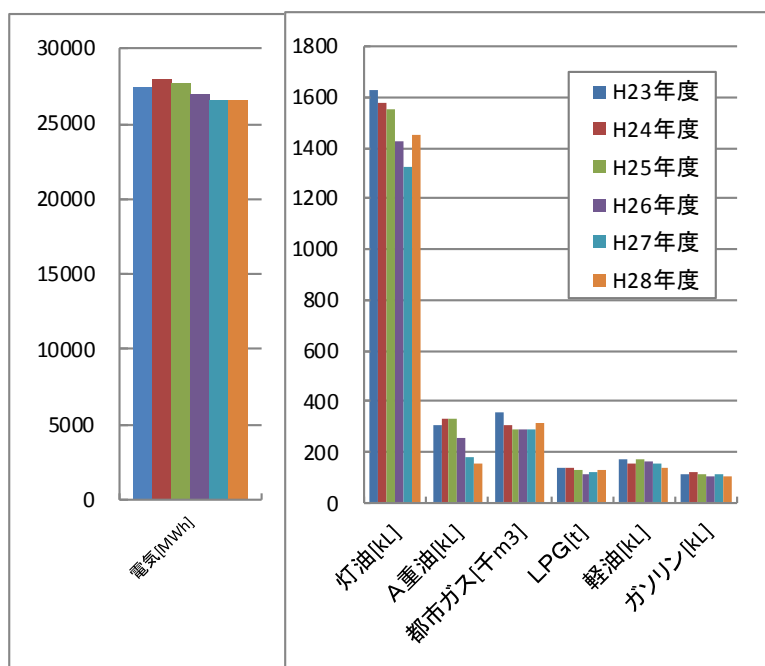
なお、平成23年度の電気使用に係る排出係数(※1)に固定した場合、平成23年度と比較して6.9%減少となりました。

年度	平成23年度	平成28年度
温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	25,225	23,421
平成23年度比		▲7.2%

(※1) 各電力会社とその年に火力発電所等で石油や石炭などを燃やした時に排出した1kWh当たりの二酸化炭素量より算出した係数(kg-CO₂/kWh)。火力発電の割合が大きいと係数は大きくなる。



■市役所の燃料使用量



平成 28 年度の市役所の燃料使用量は、平成 23 年度比で電気が 3.0%、灯油が 11%など、すべてにおいて減少しました。

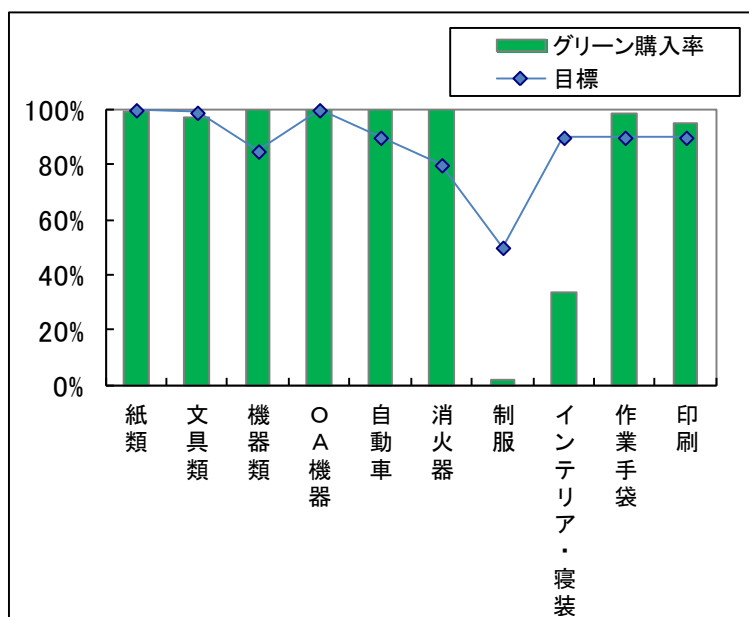
原因としては、平成 23 年度と比べて、夏の平均気温が低く、冬の平均気温が高かった、また職員や施設利用者の省エネの取り組み効果により、冷暖房費等にかかる燃料使用量の減少が考えられます。

■温室効果ガス排出量を間接的に削減する取り組み

紙類使用量・水道使用量については、平成 23 年度と比べて削減されております。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	H23年度比 [%]
紙類使用量[千枚]	29726	29486	23098	22455	24297	25156	-15.4
水道使用量[千m ³]	384	331	303	291	276	263	-31.5

■平成 28 年度のグリーン購入実績



平成 28 年度調達目標を達成した品目は、目標を設定している 11 分野 85 品目中、シャープペンシル等の文具類 24 品目、テレビ、プリンタなど 12 品目の計 40 品目でした。全体としての成果は、物品購入数ベースでは 99.4% (H27:99.1%)、また購入金額ベースでは 96.7% (H27:92.4%) のグリーン購入率となっております。一部目標に到達していない分野もありましたが、各職場に着実に浸透しております。

-平成 28 年度 酒田市環境保全実行計画年次報告書-

<お問い合わせ>

〒998-0104 山形県酒田市広栄町三丁目 133 番地 酒田市市民部環境衛生課

TEL:0234-31-0933/FAX:0234-31-0932/E-mail:kankyo@city.sakata.lg.jp